

♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2018年3月～4月前半♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718

まだまだ寒い日が続きますが、陽光も明るく、つばみも膨らみ、春の兆しを感じるようになりました。春はもうすぐですね！ 宗次ホールでも、おでかけが楽しくなるような公演をとりそろえてお待ちしております！

【文責：宗次ホール広報担当 松野尚子／企画担当 廣田政子】

ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は「私たちの聖書」 国際的カルテットが挑む究極のコンサート ロータス・カルテット

3月16日(金)18:45 17日(土)14:00 & 18:00
各回 3,500円(3公演セット券9,000円)【指定】



ロータス・カルテットは、日本発祥でありながら、四半世紀という長きにわたってドイツを拠点に世界の最前線で活躍する国際的常設弦楽四重奏団(＝カルテット)です。今やドイツにおける弦楽四重奏の伝統的精神を受け継ぐ稀有な存在とも言われる彼らが、これまた、弦楽四重奏曲の中でも特別な作品であるベ

ートヴェンの後期弦楽四重奏曲を、それも6曲全曲を演奏するというのですから、宗次ホールはじまって以来の大プロジェクトです。

そこで、この演奏会をとっても楽しみしてくださっている弦楽四重奏が大好きという常連のお客様、加藤紳一郎さんにお話を伺いました。

「ベートーヴェンファンにとっても弦楽四重奏ファンにとっても、ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲は特別な存在だと思う。ベートーヴェンの人生最後の数年間に集中して書かれたこれらの曲は各々が宝石のように光っている。ダイヤモンド、サファイヤ、ルビー、エメラルド、オパール、それぞれの宝石は美しく光り輝くが、それらが一体となった王冠は個々の宝石の力を何倍にもする。今回、宗次ホールでロータス・カルテットによる「王冠」を体感できることにとっても大きく期待している。

大晦日の恒例行事となっている東京文化会館小ホールでの、古典カルテット、カルテットエクセルシオらによる『ベートーヴェン中期・後期カルテットコンサート』は、毎年、大きな感動を与えてきている。今回は後期の6曲だけであるがメンデルスゾーン2番という兄弟(兄妹?)を入れての7曲。素晴らしい体験となるに違いない。

フェラーリ、ランボルギーニ、マクラーレン、ポルシェ、マセラッティにも喩えようか。ビーフステーキ、牛ヒレ網焼き、ビーフシチュー、すき焼き、しゃぶしゃぶにでも喩えようか。流石に一晩でそれだけを食べると胃もたれをしそうだが、今回は2日間、3公演に分かれての開催なので注意していれば胃もたれで苦しむことはなさそうだ。

しかも演奏はロータス・カルテット。日本を代表するカルテット

と呼称すれば本人たちは納得すまい。今や世界を代表するカルテットに成長したロータスの演奏だ。舌が応でも気分は盛り上がる。

個人的には、3月17日当日、13:00から大事な会議があるのだが、会議を途中退席しながらホールのある栄と会議が行われている名古屋駅との往復を繰り返してこの感動を味わう予定でいる。宗次さん、ありがとう。」

鉄壁なアンサンブルと深淵な音楽性でベートーヴェンの生涯最後に残したメッセージを伝えます。この特別な演奏会にぜひ足をお運びください。

当時のピアノで聴く、本物のモーツァルト！ クリスティアン・ベザイデンホウト

3月18日(日)14:00開演 4,000円(学生2,400円)【指定】



モーツァルトが生きていた時代には、私達が「ピアノ」といったときに思い浮かべるあの、黒くて大きなピアノはありませんでした。現代のピアノ(モダンピアノ)と区別するために、モダンピアノ以前のピアノのことを「フォルテピアノ」と総称しますが実は、時代、地域、制作者によって、

その形、音色は大きく異なるのだそうです。今回、ベザイデンホウトさんが宗次ホールで演奏するフォルテピアノは、モーツァルトと同じ時代のウィーンの楽器制作者であるワルターが1800年ごろに製作した楽器をモデルに現代の楽器制作者が作成したものです。まさに、モーツァルトが弾いていたピアノといえるでしょう。

このワルターモデルの鍵盤はモダンピアノよりも28鍵も少なく、鍵盤の色は白鍵と黒鍵の色が逆、そして鍵盤の重さはモダンピアノの約1/4でタッチも浅く出来ています。モダンピアノに比べ小さな見た目からおもちゃのような感じすら受けますが、その音色の多彩なことといたら！ 招聘元のアレグロミュージックさんのサイトで紹介されている動画を是非ご視聴ください！(アレグロミュージックで検索！) 繊細できらきらとした音色、音が重ねられるうちにぞくぞくと立ち上がる芳香、そして複雑ではかない余韻…モーツァルトはこんな音を聴いていたのか！と衝撃を受けました。数年前に京都で行われたコンサートの際には、終演後に「いままで私が聴いていたのは何だったの！」と叫ぶご婦人もいらっしゃったとか…。

ベザイデンホウトさんの手にかかれば、フォルテピアノはモダンピアノに進化する前の未熟な楽器、というイメージはすぐさま覆されるでしょう。貴重な現代最高のモーツァルト弾きによる当時の楽器での演奏会です。「モーツァルトの真実」を、どうぞ確かめにいらしてください。きっと新しい世界の扉が開きます♪

ウクライナ出身でドイツで活躍する
音色も姿も美しいサクソフォン奏者
アーシャ・ファターエフ

3月20日(火)18:45開演 3,500円(学生2,100円) [指定]



女優さんかと思間違え
そうなほどの美貌の持ち
主のアーシャ・ファター
エフさん。美しいだけ
なく、その才能も折り紙
つき。まだ20代である
にもかかわらず、ベル
リンフィルをはじめと
する世界の名だたる
オーケストラからソ
リストとして招か

れています。サクソ
フォンは、クラシッ
クというよりも、吹
奏楽やジャズでの
楽器というイメ
ージが強いですが、
アーシャさんの
そのやわらかで澄
んだ美しい音色
を聴くと、むしろ
クラシック音楽
のための楽器
ではないかと思
ってしま

います。
演奏する姿も
音色も、のび
やかで爽やか
。気品があり
ながらも時に
かわいらしさ
もあり、まさ
に「ミューズ
」という言葉
がぴったり
です。アー
シャさんの
言葉をご紹
介しまし
ょう。

“I hope the classical saxophone will be able to take its rightful place in the music world.” (私の願いは、クラシック・サクソフォンが音楽界で正当な場所を手に入れるようになることです)

アーシャさんにとっては、クラシック、吹奏楽、JAZZといった区別などないのでしょうか！

人気フルーティストと気鋭のギタリストのデュオ
「デュオ・ノスタルジア」と名乗り、宗次ホール再演！
上野星矢(フルート) & 松本大樹(ギター)

4月1日(日)14:00開演 3,500円(学生2,100円) [指定]

上野星矢さんと松本大樹さんは、パリの国立高等音楽院で共に学んだ盟友。ふたりはパリで当時、「フルートとギターの相性はとてもよいから、いつか一緒にやりたいね！」と話していたそうです。その夢は、2016年4月に行われた宗次ホールのスイーツタイムコンサートで実現。コンサートは満員御礼！ 大好評を博しました。

大好評だった前回同様、今回も多彩なプログラムが用意されています。イベールやラヴェルといったフランスものに加えて、ピアソラやファリャの名曲まで。

その中でもピアソラの「タンゴの歴史」は要注目！ こちらはまさに、「フルートとギターのために」作曲された組曲。4楽章構成でタンゴの歴史を1900年から30年毎に区切って鮮やかに描き出した名作です。前回もこの組曲から2曲を抜粋して演奏しましたが、今回は全曲演奏を予定しています。

上野さんによると、フルートとギターのデュオの魅力は「ぬくもりと情緒のある音」とのこと。今や日本を代表するフルートの風雲児とパリで活躍を続けるギターの若武者コンビ！ どうぞご期待ください。

お得なスイーツタイムコンサート ¥2,000

13:30開演 自由席

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

3月19日(月)

正確無比なテクニク メン・スー(ギター)



東京国際ギター・コンクールを17歳の若さで制し、ハイレベルなことで有名な「パークニング国際ギターコンクール」でユース(若者の為の)部門及び本選部門の両方をはじめ制覇した若手ギタリストのメン・スーさん。(そして本選まで進み、優勝したのは女性ギタリストとして初。)彼女の演奏技術の高さは、もう「完璧」と

言ってしまう位のもので、「メン・スーが出る大会に出場してしまったコンテストは、ツイてない。本選に残ったというだけでもハクがつく。」と慰められる(?)程の圧倒的勝利だったようです。

「2006年にユース部門で優勝した時、インタビューに、また本選を受けに戻ってくる、と言ったのですが、その時は本気で受け取られていない様でした！ 2015年に同コンクール本選の記事を目にした時に、約束を果たす時が来た、と思って。コンクールということ忘れて、演奏を心から楽しんでしまいました」と言うスーさん。コンクールに出る若者へのアドバイスを、との質問にも、「いつも通り、楽しんで！ それからとにかく、練習ね！」と流暢な英語で受け答えする様は、なんだかすごくカッコいい。超絶技巧作品も涼しい顔で余裕の演奏、リズムの正確さとキレの良さも、特筆すべきです。神戸、東京公演は¥4,000のところ、宗次ホールは¥2,000！ 絶対お得です！

4月7日(土)

海外で活躍する日本人演奏家の草分け
久保陽子(ヴァイオリン)

現在は、海外で活躍する日本人演奏家はたくさんいらっしゃいますが、久保さんは、誰よりもはやく世界に飛び出したパイオニアです。その半生は、朝の連続テレビ小説のヒロインのモデルにでもなれるのでは？ というほど、波瀾万丈でドラマチック！ 久保さんの公式サイトで紹介されていますので、ぜひご覧ください！ (久保陽子物語で検索！) チャイコフスキーコンクールなど世界の著名コンクールで次々に入賞を果たし世界進出、巨匠シゲティより教えを受けた日本ヴァイオリン界の大御所と気鋭のピアニスト黒岩悠さんによるシューベルト、クライスラーの名曲は必聴です！

●記載公演いずれもチケットございます！●

チケットのご予約・お問い合わせは
宗次ホールチケットセンターへ

☎052-265-1718